

部門別企画5 生理機能検査部門シンポジウム

テーマ

《生理検査室の報告書を磨く 臨床側へ付加価値のある所見を返すには》
座長 倉重康彦（新古賀病院） 後藤忍（大分岡病院）

演題

- 1 生理検査室の報告書を磨く～心臓、頸部血管超音波検査について～
池上新一 聖マリア病院
- 2 生理検査室の報告書を磨く～臨床医に伝わる腹部超音波検査報告書～
谷村勝宏 中津胃腸病院
- 3 付加価値のある所見～臨床医の欲しがるデータ～
花田 守 出水郡医師会立阿久根市民病院
- 4 ルーチン検査を見つめ直して～多施設アンケートで分かったこと～
渡辺秀明 独立行政法人国立病院機構長崎医療センター



— 生理検査室の報告書を磨く —

生理検査室の報告書を磨く 臨床側へ付加価値のある所見を返すには

企画者の意図

学会テーマが「磨」でありこのテーマを選んだ。診療に繋がる大事な報告書が少しでも良いものになればと願う。

臨床側は、幅広い生理機能検査に対し、高い知識や技術を要求し、高度な専門性を望んでいる。しかし、技師間の報告書に差があっては問題であり、報告書に責任を持ち必要なコメントを記入、緊急性を臨床側へ伝える能力も要求される。しかし、施設の規模や診療科は様々で、各施設にはそれぞれの施設に合った工夫された報告書が存在する。また、他の施設の研鑽された報告書作成に対する工夫はとても気になるところである。

施設の磨かれた報告書を参考にすることは、日々の仕事の質の向上に繋がると思う。

今回は、参加した方が、「もやもや」でなく「すっきり」とした気分で帰宅し、明日からの参考にしようと思えるシンポジウムになればと願う。

大分岡病院検査課 椎原百合香



— しんぱん検査室 —

生理検査室の報告書を磨く 臨床側へ付加価値のある所見を返すには

それぞれの立場での報告書の付加価値とは？

報告書

医師（臨床側）

- ・ 診断価値がある（治療や手術の参考となる）
- ・ 新情報・技術、研究に使用できる情報の記載
- ・ わかり易い所感や写真で、迅速かつ正確である

技師・スタッフ

- ・ 認定技師（高い専門性）が担当
- ・ 個人差・個体差に左右されない
- ・ 経過観察に有効かつそれが簡単にできる

患者および家族

- ・ 信頼性と安心感がある
- ・ 略語、見やすい文字、基準値の添付、検査の意義と概説

社会

- ・ 病病・病診連携のツールとして
- ・ 裁判対策
- ・ 標準化 統一性



— 生理検査室 —

生理検査室の報告書を磨く 臨床側へ付加価値のある所見を返すには